

PCAクラウド Web-API

Vanguard

SYSTEMS INC.



世界的に優れた技術を持つものづくり企業で、受注管理における「紙」からの脱却に成功。プログラミング知識の無い一人の社員がノーコードでDX推進！

株式会社 バンガードシステムズ

自社の業務をよく知る社員が、業務プロセスを刷新するシステムをノーコード※1で実現。その代表的な事例が株式会社バンガードシステムズだ。同社は世界的に見ても希少な技術を持つものづくり企業。その受注・発注システムを「紙」から脱却させ大きく改善したのは、SIer※2ではなく一人の社員だった。同社のDXを縁の下から支え成功させたキーパーソンに、導入メリットを伺った。

導入システム

- PCAクラウド イニシャル"0"プラン (Type24 12CAL)
 - ・PCAクラウド 会計
 - ・PCAクラウド 給与
 - ・PCAクラウド 固定資産
 - ・PCAクラウド 商魂
 - ・PCAクラウド 商管
- PCAクラウド 商魂・商管 データ連携オプション
- PCAクラウドWeb-API ※3
- クロノスPerformanceクラウド ※4
- kintone ※5
- Garoon ※6

導入の狙い

- ・紙による受注システムを変更したい。
- ・受注から出荷までの流れを正確に把握したい。
- ・売上データの報告作業を軽減したい。

導入効果

- ・業務負担が3分の1から5分の1へと軽減！！
- ・『PCAクラウド 商魂』×『kintone』の連携で、紙を使わない情報共有を実現。
- ・『PCAクラウド 商魂』×『kintone』の連携で、受注・発注後の流れの“見える化”に成功。
- ・『PCAクラウド 商魂』×『kintone』×『Garoon』ポータル連携で、ポータル上から正確な売上データを確認。

プロフィール

株式会社 バンガードシステムズ

- 住所: 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢1-27-23
- 設立: 1986年10月24日
- 資本金: 5,000万円
- 従業員数: 60名
- URL: <https://www.hp-vanguard.com/>
- Twitter: https://twitter.com/tw_vanguard
- Youtube: <https://www.youtube.com/channel/UC1Va2Zn0Bh-EzMQPivJjPcQ/>

□業務内容:

- ◎ME事業部
モーションコントロール製品を主体とした各種ドライバ・コントローラおよび応用製品の開発・製造・販売、テーピングマシンの開発・販売
- ◎テーピングサービス事業部
テーピング加工および外観検査サービス

私たちは新しいものづくり・ソリューションカンパニーです

わが社の創業の原点は、独創的な技術で商品やサービスを生み出し、それを世に問いたいと考えたことにあります。この原点を永久に忘れないために社名を「バンガードシステムズ(先駆者)」といたしました。

※1:『ノーコード』とは、ソースコードの記述をせずにアプリケーションやWebサービスの開発が可能なサービスのことで。

※2:『SIer(エスアイアー)』とは、システムインテグレーション業務の構築や導入を請け負うシステム開発企業のことです。

※3:『PCAクラウド Web-API』は、『PCAクラウド』と他のクラウドサービス等をシームレスに連携させることが可能なサービスです。

※4:『クロノスPerformanceクラウド』は、クロノス株式会社の製品です。

※5:『kintone』、※6:『Garoon』は、サイボウズ株式会社の製品です。

【取材にご協力頂いたお客様】

株式会社 バンガードシステムズ
ME事業部

久保 恵子 氏



テーピングサービス事業部
作業風景

導入前の運用と課題

○“紙”による管理方法から脱却したい

株式会社バンガードシステムズはモーター関連製品の開発・製造・販売を行う「技術の会社」だ。大きく2つの事業を展開しており、テーピング加工の事業部では卓上型テーピングマシンを世に先駆けて販売。製品をわずか1日でテーピングする1DAYサービスも人気を呼んでいる。

もう一方のモーションエンジニアリング事業部(ME事業部)では、トルク制御(ねじりの強さ)において「微力な力の制御」という世界的にも希少な技術を持つ企業であり、国内外から高い評価を受けている。スマートフォンや車載機器など、私たちの身近にも同社の技術に支えられた製品が多い。

このような先進のテクノロジーを持つ企業だが、じつは受注から出荷までの管理において、前までは紙を中心とする管理を行っていた。

「注文を受けると『PCA 商魂』に入力し受注伝票を作成。同時に同じ内容をExcel®データにも入力し、出力した受注伝票を各担当者に渡していました。つまり注文が入るたびにプリントアウトした伝票を、様々なフロアで仕事をしている担当者の元に、歩いて持って行っていました」(ME事業部 久保 恵子 氏)

わざわざ別の階まで伝票を持って行き、そこで初めて担当者の休暇を知ることもあったという。また、受注伝票の内容に変更があれば、『PCA 商魂』だけでなく久保氏が管理していたExcel®データの修正も行わなければならないかった。

「『PCA商魂』と私の管理するExcel®データに差異が生じないように、こまめに照合していましたが、じつはまだ他にも管理している受注データがありました。売上把握のためサーバー内に置いていたデータです。このように紙と複数のExcel®データによる管理を続けており、もっとスマートで確実に情報共有できる方法を探していました」(久保氏)

選定のポイント

○実現したいことは、ペーパーレス化とデータ管理のしやすさ

スマートで手間を軽減でき、かつ確実に情報共有できる受注管理の方法を模索していた久保氏だが、PCAでセミナーが開催されていることを知った。

「セミナーに参加してみました。そのセミナーの後にPCAの社員と相談できる場が用意されていました。その際にPCAがサイボウズのkintoneと連携する案内をもらいました」(久保氏)

新しい受注管理システムについて久保氏の希望していた点は、①ペーパーレス化:受注伝票をその都度出力し各担当者に出向いて渡さなくてもよいシステム。②データの管理のしやすさ:データを一元化でき、かつスムーズに情報共有できること。

この2つを実現できるシステムとして『PCAクラウド商魂』×kintoneの連携による受注データ管理システムを選択した。

導入のメリット

○『PCAクラウド 商魂』×kintoneの連携で課題を見事に解決

現在、同社のME事業部では次のような受注管理を行っている。

①注文を受けると『PCAクラウド 商魂』にて蓄積された商品情報をもとに受注伝票を作成。→②受注データはkintoneと自動連携。→③営業社員はkintone上の注文書 データにコメント入力などを行う。→④kintoneをプラットフォームにして営業→資材→製造と各担当者が確認・報告・承認を行う。

これによって「ペーパーレス化の実現」「一元化されたデータを関係者間で共有」の2つの課題が見事に解決できた。

「ペーパーレス化はみんなが望んでいたことです。当社は所沢以外に相模原にも拠点があ

り、場所を問わず注文書 を見ることができ、さらに受注内容 の詳細も把握できます。ペーパーレス化を実現することで、同時に情報の共有化も実現できました」(久保氏)

同社のように『PCAクラウド 商魂』を受注管理システムの最初の入り口にし、その後をkintoneで運用するケースもあれば、最前線の営業社員がkintoneを利用して最初に受注データを入力し、その後の処理を『PCAクラウド 商魂』で行うケースもある。各企業の実情に合わせて、どちらをフロントにして運用するかを柔軟に決められるのも、PCAとkintoneの連携の特徴といえるだろう。

○連携機能を応用し、社内ポータルから売上詳細をいつでも確認

同社ではサイボウズのグループウェアGaroonを利用している。そのポータル上から売上や受注額などを確認できるようにし、重要な数字の可視化・共有化も実現している。具体的にはGaroonポータルに受注額を確認でき

るボタンを設置。これは『PCAクラウド 商魂』と連携させたアプリケーションの一つであり、ボタンをクリックするだけで正確かつ最新の受注額を把握できる。

この連携によって、これまで大きな負担になっていた数字の報告についても、工程を大きく軽減できている。

「以前は売上データをExcel®でまとめ、見やすいように加工してから上層部に渡していました。これがなかなか時間のかかる作業でした。しかし今ではGaroonポータルの売上・受注ボタンをクリックすれば、『PCAクラウド 商魂』で管理している売上データを確認できます。先月はどのような商品が売れ、どの得意先からの受注が多かったかなど、先月分の売上の詳細を正確に知ることができます」(久保氏)

売上データ以外にも、経費の取りまとめや労働時間の管理などもGaroonポータルを利用しており、情報の共有化・迅速化について以前とは大きく様変わりしている。



ME事業部 製品
ST-Servo



ME事業部 製品
PRO-FUSE 微小ねじ締め機

システム概況図

受注から売上管理までの流れの“見える化”

【ペーパーレス化と業務の迅速化】

【担当者間での情報の可視化・共有化】

PCA商魂



kintone



Garoon

受注データ

受注

注文
データ

資材

製造

売上



紙の受注管理
から脱却

営業社員が
コメント入力

受注後の動きを
Kintoneで確認

売上データは
Garoonで確認

PCAクラウド

ノーコードによる連携でシステムを構築

【ノーコードによるメリット】

【ペーパーレス化・システム化】

- ① 業務内容をよく知る社員による構築が可能
- ② SIerなど外部に発注する費用を削減
- ③ 修正があれば社内に対応できる



テレワークを実現。
受注業務を止めるこ
となく進められる。



本社社屋
(埼玉県所沢市)



株式会社 バンガードシステムズ HP
<https://www.hp-vanguard.com/>

○テレワークでも受注の流れを止めることなく進められた

今回のシステム導入によってテレワークも大きく推進できた。同社が『PCAクラウド 商魂』とkintoneの連携による現在の受注管理システムを本稼働させたのは2020年7月～11月にかけて。第1回目のコロナ対策緊急事態宣言の後になる。その後、幾度にわたって緊急事態宣言が発令されたが、同社の場合は『PCAクラウド』によって早い段階からテレワークができる環境を整えていた。

「現場あってこそその製造業ですから、部署間の様々な調整は必要でした。部署によってテレワークに対する考え方の違いもありました。しかし結論からいえばテレワークでも受注の流れを止めることなく進められました」(久保氏)

○ノーコードで連携。IT技術者がいなくてもDXを推進できる

『PCAクラウド 商魂』とkintoneの連携によって、業務負担・入力の手間については、体感的には3分の1あるいは5分の1まで軽減できたと久保氏は感じているようだ。

「個人的には、毎月の数字の報告業務を減らせた点は助かりました。どの商品がどのお客様に売れたのかを、以前なら自分の目で数字を拾っていましたが、今は『PCAクラウド 商魂』でほぼ自動的に出せます。Excel®の加工も地味に大変な作業でしたが、それも今はポータルを見るだけで数字を関係者間で共有できます」

そして今回のシステム導入で得られたメリットには、「見える化」も大きいと久保氏は語る。

「今、あの商品はどこまで進んでいるんだろうか？あの時渡したあの紙はどこを回っているんだろう…。そういうことがなくなっただけでもコミュニケーションは変わらずに取りた

いで、紙はなくなりましたが、現場に出向く回数は大きく減らしていません」(久保氏)

このように大きな導入メリットをもたらすことのできた今回の『PCAクラウド 商魂』とkintoneの連携だが、そもそもこの連携作業やポータルへの反映は、Sierを使うことなく久保氏一人で実行・成功させている。

「プログラミング知識はまったくありません。しかし連携については事例も参考にしつつ、ネットにでている情報がかなり役立ちました」(久保氏)

PCAでは『PCAクラウド 商魂』『PCAクラウド 会計』と、kintoneをノーコードで連携できるプラグインをリリースしている。専任のIT技術者がいなくても、同社のようにDXを推進することが可能だ。

今後の課題と展望

2021年1月から同社は神田工業グループの一員として、新体制のもとで製品開発力やサービス開発力をより一層高めている。

「微力な力の制御」など世界的に見ても優れた技術を持つ同社は、より安定的な環境のもとで、さらに精度の高いものづくりを行っていく。今後は『PCAクラウド 商管』を連携し在庫管理についても見える化を図りたいと語っている。